



香川民医連 NEWS

2024年1月11日
NO. 593
発行者 県連事務局

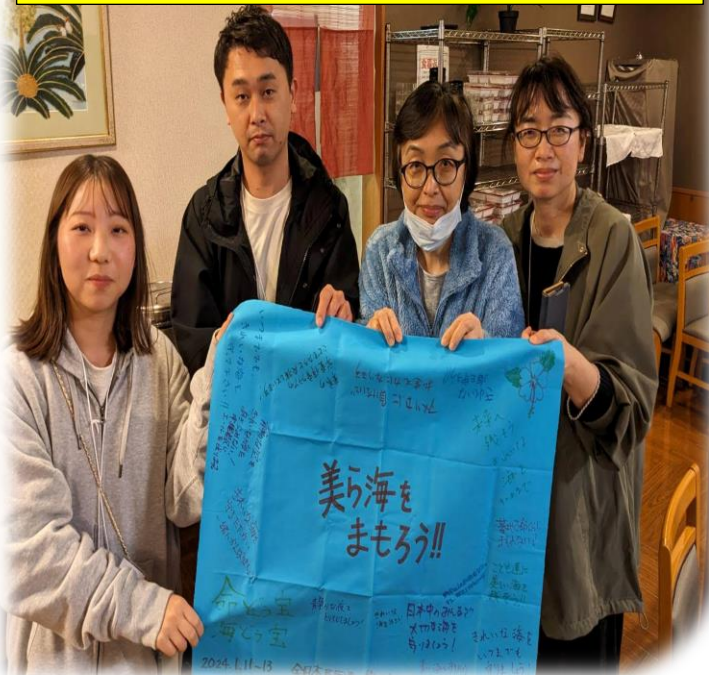
辺野古連帯支援の皆さんから現地報告が届きました。

行動日第1日目、11日の日程は、

- ①嘉数高台公園の展望台から普天間基地を展望
- ②移動中バスの中から、沖縄国際大学のオスプレイ墜落現場とアメリカ基地外住宅の見学
- ③嘉手納基地を展望
- ④車中で、「標的の村」を視聴
- ⑤「高江の戦い」を講師の伊佐真次氏より学習
- ⑥グループ交流、辺野古村へ檄布メッセージ記入・・・と盛り沢山でした。

戦争の傷がまだまだ残っていると思うと同時に、ここではアメリカ基地と隣り合わせの暮らしで、それでも、我慢を強いられていることに腹立たしい気持ちになりました。アメリカとの地位協定が、戦時中の不平等条約と同じでと感じました。空軍の訓練でとても遠くに飛行しながらも、電車が通過しているガード下と変わらない騒音が何回もしていること、今、石川県が燃料がなく困っているのに大きな戦闘機の訓練（タッチ&ゴー）を何回もして、ただ燃料を捨てているように思いました。（國岡師長）

グループワークと食事が終わり、辺野古村でたたかう皆さんへのメッセージ書いた後です



桜が1輪、前方にはアメリカ空軍が轟音上げ訓練中

思った以上に米軍基地、それに関する施設（基地外住宅など）が多かった。飛行機の音は観光として聴いても騒音。こんな地域に住むのは本当に苦痛になりそう。自然豊かな沖縄のイメージと違った。基地の無い自然に溢れた沖縄を見たいと思いました。（六車PT）

住宅街がすぐ近くにある最も危険な基地。小学校にもシェルターがある。飛行機の爆音が常態化となっている50年たっても最近救急車が自宅まで来てくれる、それまでは離れた場所から歩いていたなど話を聞くことができた。沖縄の人の負担、危険を減らせる活動が大切だと学びました（川西主任）

定例宣伝：【市民連合】19日朝7時半/【社保協】25日朝7時半/【憲法C】第2(水)17時半
どなたでも参加大歓迎。事前に県連にご連絡下さい(共闘手当扱)/【原発行動】最終(金)17時